



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）5月25日号 No. 1496

目次

■ ガспロムの困難	塩原 俊彦 1
—非在来型ガスという「黒船」—	
■ トピックス	15
東北電力がサハリン2からLNG受入／15	
商船三井、ロシア航路をウイークリー化／15	
宮城県とニジェゴロド州の経済協定／15	
東電設計コンサルによるアルメニア火力竣工／15	
■ エトセトラ	16
『調査月報』2010年6月号のご案内／16	

ガспロムの困難 —非在来型ガスという「黒船」—

高知大学 人文学部

塩原 俊彦

はじめに

ロシアの国営企業ガспロムは世界有数のエネルギー企業である。それだけに、ガспロムの帰趨は今後のロシア政府のあり方にも少なからず影響をおよぼすだろう。そこでここでは、ガспロムが最近、非在来型ガスという「黒船」に直面して苦しい立場に置かれている現状について、天然ガスの需給バランスやパイプライン敷設戦略などを詳しく分析するなかでその問題点を明らかにすることにした。

1. 天然ガスの確認埋蔵量と需給バランス

世界中の天然ガスの確認埋蔵量は2009年1月1日現在、189兆1,680億 m^3 と見積もられている。このなかには、「在来型ガス」と呼ばれる、比較的浅い堆積層の油・ガス田から採掘されるガスのほか、「非在来型ガス」という、坑井から回収するのに最初から特殊な回収技術を利用しないと回収できないか、あるいは坑井掘削以外の方法で回収をはかる必要のある、比較的深い堆積層にある天然ガスが含まれている。後者には、タイトガス、コールベッド・